

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。

初代庵主大定三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといわれるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

眼前の平和の如くスワン来る
岐阜県立飛騨神岡高等学校

中島 聖音

今月の短歌

夢が何か決まらぬ吾に苛ついて
曇った空を混ぜたくなった

岐阜県立飛騨神岡高等学校 井上 歩香

季節は「スワン」、つまり「白鳥」。冬になってシベリヤ方面から日本に飛来する。新潟県の瓢湖に飛来するものなどが有名だ。全身が純白で長い頸を持つ姿は優雅で、「白鳥の騎士」とか「白鳥の湖」とか、如何にもロマンに満ちた存在でもある。そんな「白鳥」が、現実には作者の前に立ち現れた時、作者は直感的に「平和」という言葉を想起したというのである。「平和」と言つとすぐに「鳩」をイメージしがちだが、確かに「白鳥」にもそんな気分は漂う。

(鳴立庵庵主 本井 英)

「将来の夢は?」。小学生なら思い付きで答えてもいいでしょう。けれど、高校生ともなれば自分の一生に関わる大事であり、真剣にならざるを得ません。就職か進学か、進学なら学部学科は? 作者は希望に満ちた将来が描けないように、自分自身に苛つきます。見上げれば、暗澹とした自分の気持ちのような曇り空。ええい、この曇った空をかき混ぜてやれ、というのは膨大なエネルギーが内にこもっている証です。本人は辛いかも知れませんが、この歌には若さが充満しています。きっと大きな夢をつかむに違いありません。

(西行祭選者 柳 宣宏)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

費用 持ち物 申込み 締切り 問合せ 定員 対象 講師

講座名	日程	時間	備考
座禅	9月16日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講 豊田 素道氏 (慶林寺住職) 定10人 費500円 (入庵料込)
伝筆	9月24日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講 認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対 中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
茶と遊ぶ	10月7日(土)	10:00~正午	香りあるお茶を知って楽しもう~着紅茶あれこれ~ 講 高野 幸代氏 定10人 費2,000円(お茶菓子付き・入庵料込)



西行人形(伏見人形製)



鳴立庵入口展示



伝筆教室作品例

問 大磯町商工会
☎(61)0871



福月洋装店(大磯)
波のピンタック
アートワンピース



おいそ地域振興(株)(大磯)
柔軟剤



AUI-AŌ Design(大磯)
大磯の一笔箋

「めいどいん
おいそ」
登録商品
紹介コーナー

